



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 富士ダイス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6167 URL http://www.fujidie.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西嶋 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長兼企画部長 (氏名) 春田 善和 (TEL) 03-3759-7124
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 4,251 | 7.0 | 371 | 111.2 | 366 | 115.1 | 267 | 205.3 |
| 29年3月期第1四半期 | 3,972 | 2.2 | 175 | 17.1 | 170 | 37.6 | 87 | 18.1 |

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 260百万円(—%) 29年3月期第1四半期 8百万円(△88.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 13.35 | — |
| 29年3月期第1四半期 | 4.37 | — |

(注) 平成30年3月期第1四半期の包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を越えるため、「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 24,180 | 17,656 | 73.0 |
| 29年3月期 | 25,245 | 17,836 | 70.7 |

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 17,656百万円 29年3月期 17,836百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | 22.00 | 22.00 |
| 30年3月期 | — | — | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 22.00 | 22.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-------|-------|------|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 8,409 | 2.6 | 520 | △13.0 | 539 | △6.2 | 400 | 0.5 | 20.00 |
| 通期 | 16,868 | 1.3 | 1,110 | △4.4 | 1,214 | 1.6 | 900 | 5.2 | 45.00 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年3月期1Q | 20,000,000株 | 29年3月期 | 20,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期1Q | 一株 | 29年3月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 30年3月期1Q | 20,000,000株 | 29年3月期1Q | 20,000,000株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等に加え、個人消費や設備投資にも持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中国をはじめとした新興国の景気下振れリスク、英国のEU離脱問題、米国の新政権の政策動向や北朝鮮問題等の地政学的リスク等、景気を下押しするリスク要素も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは前年度に引き続き「革新」を年度方針に掲げ、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスの向上に努めてまいりました。また、持続的な成長を目指し、①業務の効率化による収益率の向上、②海外売上拡大・国内市場の深耕、③成長分野への注力に取り組んでおり、業務の効率化の一環として、平成29年5月に門司工場の生産機能を停止し、主に熊本製造所に生産を集約しております。なお、事業の成長、企業価値の向上を目指し、平成29年4月12日に東京証券取引所市場第一部への指定替えを行っております。

超硬製工具類では、冷間フォーミングロールや混練工具、超高压発生用工具の販売が増加し、売上高は1,101百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

超硬製金型類では、製缶金型や光学素子成形用金型が前年度特需の反動減により低調となったものの、自動車部品生産用金型が堅調に推移し、売上高は1,026百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

その他の超硬製品では、自動車部品生産用の超硬金型素材や粉砕機用の刃物素材の販売が堅調に推移したことにより、売上高は947百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

超硬以外の製品では、引抜鋼管が前年度から引き続き堅調に推移したことに加え、セラミックス製の治工具や鋼製の自動車部品生産用金型の販売が増加し、売上高は1,175百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,251百万円（前年同期比7.0%増）となりました。利益につきましては、受注が好調に推移したことから、売上高の増加、稼働率の向上による原価率の低減等により営業利益は371百万円（前年同期比111.2%増）、経常利益は366百万円（前年同期比115.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は267百万円（前年同期比205.3%増）となりました。

なお、当社グループは耐摩耗工具関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、24,180百万円（前連結会計年度末25,245百万円）となり、1,064百万円減少いたしました。流動資産は13,183百万円（前連結会計年度末14,056百万円）となり、872百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が889百万円減少、受取手形及び売掛金が101百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は10,997百万円（前連結会計年度末11,188百万円）となり、191百万円減少いたしました。これは主に、機械装置及び運搬具（純額）が146百万円減少、建物及び構築物（純額）が69百万円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債の部は、6,524百万円（前連結会計年度末7,409百万円）となり、884百万円減少いたしました。流動負債は4,706百万円（前連結会計年度末5,545百万円）となり、839百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他に含まれる設備支払手形が737百万円減少、未払費用が215百万円減少、未払法人税等が210百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は1,818百万円（前連結会計年度末1,863百万円）となり、45百万円減少いたしました。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は、17,656百万円（前連結会計年度末17,836百万円）となり、179百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払いおよび親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が172百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月11日付の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,681 | 4,792 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,768 | 4,667 |
| 有価証券 | 1,000 | 1,000 |
| 商品及び製品 | 136 | 206 |
| 仕掛品 | 1,240 | 1,344 |
| 原材料及び貯蔵品 | 839 | 848 |
| 繰延税金資産 | 173 | 173 |
| その他 | 220 | 154 |
| 貸倒引当金 | △3 | △4 |
| 流動資産合計 | 14,056 | 13,183 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,393 | 4,324 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,817 | 2,670 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 241 | 244 |
| 土地 | 2,701 | 2,697 |
| 建設仮勘定 | 2 | 2 |
| 有形固定資産合計 | 10,156 | 9,939 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 142 | 141 |
| 無形固定資産合計 | 142 | 141 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 354 | 392 |
| 長期貸付金 | 24 | 23 |
| 繰延税金資産 | 424 | 414 |
| その他 | 88 | 86 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 投資その他の資産合計 | 890 | 916 |
| 固定資産合計 | 11,188 | 10,997 |
| 資産合計 | 25,245 | 24,180 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,178 | 2,420 |
| 短期借入金 | 383 | 382 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 72 | 56 |
| リース債務 | 25 | 23 |
| 未払金 | 686 | 657 |
| 未払費用 | 777 | 561 |
| 未払法人税等 | 318 | 108 |
| 賞与引当金 | 280 | 379 |
| 役員賞与引当金 | 27 | — |
| その他 | 794 | 115 |
| 流動負債合計 | 5,545 | 4,706 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 108 | 85 |
| リース債務 | 27 | 22 |
| 繰延税金負債 | 8 | 11 |
| 役員退職慰労引当金 | 1 | 1 |
| 退職給付に係る負債 | 1,710 | 1,690 |
| その他 | 7 | 7 |
| 固定負債合計 | 1,863 | 1,818 |
| 負債合計 | 7,409 | 6,524 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 164 | 164 |
| 利益剰余金 | 17,492 | 17,319 |
| 株主資本合計 | 17,656 | 17,483 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 102 | 126 |
| 為替換算調整勘定 | 183 | 148 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △105 | △102 |
| その他の包括利益累計額合計 | 179 | 172 |
| 純資産合計 | 17,836 | 17,656 |
| 負債純資産合計 | 25,245 | 24,180 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 3,972 | 4,251 |
| 売上原価 | 3,043 | 3,078 |
| 売上総利益 | 928 | 1,172 |
| 販売費及び一般管理費 | 752 | 801 |
| 営業利益 | 175 | 371 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 2 |
| 受取配当金 | 2 | 4 |
| 受取賃貸料 | 6 | 5 |
| その他 | 2 | 5 |
| 営業外収益合計 | 14 | 18 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4 | 3 |
| 為替差損 | 13 | 15 |
| その他 | 1 | 3 |
| 営業外費用合計 | 19 | 22 |
| 経常利益 | 170 | 366 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 4 |
| その他 | — | 0 |
| 特別利益合計 | — | 4 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 0 |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 減損損失 | — | 1 |
| 特別退職金 | 36 | — |
| 特別損失合計 | 36 | 2 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 134 | 368 |
| 法人税等 | 46 | 101 |
| 四半期純利益 | 87 | 267 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 87 | 267 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 87 | 267 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △19 | 24 |
| 為替換算調整勘定 | △64 | △34 |
| 退職給付に係る調整額 | 3 | 3 |
| その他の包括利益合計 | △79 | △6 |
| 四半期包括利益 | 8 | 260 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 8 | 260 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。